

審査の結果の要旨

氏名 松田 尚子

この学位請求論文「起業家及びベンチャー経営者と人的ネットワークに関する研究」は、起業家やベンチャー経営者が、周辺にもつ人的な関係ないしは人的ネットワークから、起業の段階ごとにどのような影響を受けるかを調査、分析したものである。起業から会社の成長に至る段階を、起業家が起業を検討し、起業を実行し、利益を出し、株式公開をし、さらに成長させていくという段階に分け、アンケート調査、企業間の取締役の兼任関係のデータ、ウェブ上で得られたデータに関する3つの分析を複合的に用いることによって、各段階における人的ネットワークの意義と特性を明らかにしている。

近年では、さまざまな起業支援の取り組みが行われ、また起業活動に関する分析が行われている。また、一方で、人的ネットワークのデータを取得する手段も、ソーシャルメディアの発達を背景として進んでいる。本論文では、起業家を取り巻く人的ネットワークに注目した研究を行っている。起業家の起業活動において、起業家を取り巻く人的ネットワークが重要であるというのは、さまざまな先行研究で明らかになっているところであり、また実務家の多くも理解しているところである。しかし、本論文では、その知見をさらに展開し、起業家を取り巻く人的ネットワークがいかに有用であるかが、起業の段階によって異なるのではないかという仮説を立て、その検証を行っている。直観的には、例えば、起業を検討する段階で有用な周りの人的ネットワークと、会社を設立した後で利益を出しさらに企業を成長させていく際に有用な人的ネットワークは異なると考えられる。しかし、この仮説を検証することは容易ではなく、それに取り組み、一定の結論を得たことが本論文の意義である。

本論文で行った1番目の分析は、大規模なアンケート調査に基づくものである。起業した人ないしは起業を検討したことのある人を多く含むアンケートの調査結果を分析することで、起業家の人的ネットワークの中でも、特に起業家及び経営者の知り合いが起業後の利益をあげるために重要な役割を果たすことが明らかになった。また、家族に起業経験者がいた場合、もしくは、友人に起

業経験者がいた場合に、後者は起業の検討に際して影響があり、前者は起業を実行するかどうかにおいて影響があるなどの知見を得ることができた。

2番目の分析として、新規上場段階において、人的ネットワークの中でも複数の企業を兼任する役員について、彼らから起業家や経営者が受ける影響について分析を行っている。これは過去の先行研究では、**Governing Board Interlocks** という問題として扱われているが、新規上場に関しても役員の兼任による影響が見られることが明らかになった。

3番目の分析は、近年急激にデータ量の増えているウェブ上のデータを対象に行っている。上場後の成長に関する分析を目的とし、上場企業の経営者等に関して、**Facebook** というソーシャルネットワークサービスから抽出した友人関係を分析した。企業の業績を説明するために、さまざまな説明変数を準備し、また **Facebook** 以外のウェブ上の指標も計算し、分析を行った結果、人的ネットワークの量は上場後の成長段階においても、業績と正の相関関係があることを明らかにした。

こうして得られたデータ分析の結果に対し、本研究では起業家ないしはベンチャーキャピタリストに対するインタビューを行い、そのデータから読み取れる知見の信憑性やその理由などについての考察を深めている。また、得られた知見に関して、政策上ないしは実務上の含意についても議論している。

本論文は、全体として、起業家やベンチャー経営者が人的ネットワークから受ける影響が、起業の段階によって異なるという仮説に対し、複数の分析を組み合わせることでその検証を行い、その仮説が正しいことを示すことに成功している。さまざまなデータの制約ならびに検証方法に由来する有効性の限界はあるものの、得られた知見は一定の信頼性をもつものである。またこうした知見は、起業支援のあり方や、起業活動の分析において、学術的に有用な知見を提供するものである。ウェブ工学分野における研究として見ても、経営者個人のソーシャルネットワークを企業の業績と重ねて分析した新規性の高い研究である。本論文は、重要性の高いテーマに対して新しい切り口で有用な知見を提供しており、博士（工学）の学位論文としてふさわしい。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。